

たのの



TANO HOSPITAL

田野病院

〒781-6410 高知県安芸郡田野町1414-1
TEL 0887-38-7111(代) FAX 0887-38-5568

発行人 白井 隆
(題字 安岡 寧水)

TANO HOSPITAL ホームページ <http://www.usui-kai.com/> E-Mail: info@usui-kai.com



たのの温泉・在宅ケアセンター内覧会 (もち投げ)
(平成27年9月5日)

CONTENTS ページ

■開院30周年を迎えて	1
■たのの温泉	2
■平成27年度永年勤続表彰受賞者一覧	2
■ISO9001更新審査について	3
■病気のはなし	3
■新薬情報	3
■新入職員オリエンテーションを通して学んだこと	4
■危ない物を『安全・安心』して使用する酸素療法	4
■BLS講習会に参加して	4
■【整理・整頓・清掃・清潔・しつけ】=5S	4
■救急医療研修会	5
■抗菌薬の適正使用方法への知識と理解	5
■ポトックス治療を開始して2年	5
■楽楽けんこう隊	6
■田野旅行記	7
■よさこいに参加させて頂いて	7
■リレーエッセイ	7
■新入職員歓迎ポウリング大会	8
■バレーボール部活動報告	8
■栄養部に実習生がやってきました	8
■デイサービスたの通信	9
■結婚しました	9
■ぼくらの夏まつり	9
■ドラゴンカヌー	9
■茄子の味噌あんかけそうめん	10
■新人紹介	10
■編集後記	10

開院30周年を迎えて

院長 白井 隆

田野病院は昭和60年から工事ははじめ、昭和61年4月1日に開院しました。30年の月日は長いですが、過ぎてしまえば何と早いものかと思えます。小さかった子供達も皆な子供の親となり、4人の子供のうち3人は、私が病院を始めた時の年齢を超えてしまいました。私の両親はともに岡山で急なことで亡くなり、死に目にも会えず、亡くなった後、仕事中に連絡がありました。遠く離れて生活していたので、仕方のないことではありましたが、多くの人が望むピンピンコリコリではありませんが、本人にとっても、家族にとっても本当に幸せなのかどうかはわかりません。以前から田野町にあった二十三土温泉がリニューアルを終え、九月に名前をたのの温泉へ改めて再スタートしました。多くの人に親しまれていた温泉がなくなるのは残念なことであり、名乗りをあげました。しかし、温泉の認可取得はなかなかハードルが高く、時間がかかりましたが、購入してから2年以上の時間が過ぎた、ちょうど30周年に再オープンすることが出来ました。何事もそうだとは思いますが、新しいことを始めるということは、大変な時間と労力を要するものです。先日の外来で開院当初に受診したことがあり、その時のエピソードが忘れられない。

という高齢の患者様が来院して、話を聞かせてもらいました。平素は当院には受診しておらず、今回は介護保険関係で受診されました。昔の一回だけの外来受診のことで、私にとっては日常的なことであっても、患者様にとっては大変重要な一回の受診であり、日々おろそかにはできないと思うと同時に、この30年間、目に見えない所でも多くの人に支えてもらっているのだと強く思いました。10月には職員とその家族にも参加してもらい30周年の祝賀会・慰労会を海辺の果樹園で予定しています。堅苦しさのない気楽な会で、お互いを労うような会にしたいと考えています。子供達もたくさん参加が予定されているので、賑やかな会になると思われます。

8月に、最近毎年行われている岡山大学医学部の同期会へ参加しました。高知からですと岡山市内へ行くよりも、道路事情が良くなったので速く行くことができるようになりました。我々の同期は数年前から定年などで第2の人生を歩んでいる人も増えて、仕事をしながらも、少し時間に余裕ができた話を聞くと、人それぞれ人生さまざまですが、私は30周年を節目として、もうひと頑張りと思っております。

ほっとこうち掲載

お肌ツツルになれるかも？

古くから「三大美人肌」と言われている
 炭酸水素塩泉 硫黄泉 硫酸塩泉
 炭酸成分の作用 角質も取る作用 保湿作用が大きい
 にあり、皮膚表面の汚れを洗い流す 肌の水分を奪
 取らずに、皮膚の角質層を柔らかく保ち、皮膚の水分を
 蒸発させずに保ちます。

上記に、弱アルカリ性（弱のpH）の重碳酸水素塩泉、角質
 を取るの温泉を加えて「四大美人肌」と呼ぶこと
 ともできる。 ※弱アルカリ性：pH7.5～8.5未満

【たのたの温泉の泉質は】

- ナトリウム-塩化物-硫酸水素塩泉
 (硫酸性弱アルカリ性冷鉱泉)
- 成分含有量：硫酸水素イオン(HCO3-)：
 1,740mg/Kg
- 弱アルカリ性：pH7.8

参考として
 日本三大美人肌の湯と呼ばれている
 R温泉 U温泉
 ナトリウム-硫酸水素塩泉 ナトリウム-硫酸水素塩泉・
 (弱アルカリ性) (弱アルカリ性)
 硫酸水素イオン(HCO3-) 硫酸水素イオン(HCO3-)
 約800～900mg/Kg

たのたの温泉は上記参考温泉と比べて
美肌成分2倍!?

国道5号線奈半利川西詰北へ入ってください

たのたの温泉
 TEL 0887・38・3566
 安芸郡田野町636-1

大人(中学生以上)	700円
小学生以下(3歳まで)	300円
幼児(2歳以下)	100円
入浴回数券11枚つづり	7,000円
貸タオルあります	

営業時間
 平日 12:00～21:00(最終受付20:30)
 土日祝 10:00～21:00(最終受付20:30)
 休館日 木曜日(祝日の場合は営業いたします)



大浴場、美肌の湯でゆっくりとお寛ぎください



サウナ室



温泉利用者はフィットネス施設を無料で利用可能



厚生労働大臣認定
 温泉利用プログラム監修健康増進施設

一般の方を対象とした入浴施設です。
 どなたでもくつろぎにお越しください



「ふう。」
 自然とため息の出る空間。

「介護の施設ですか?」といったご質問を多く頂いておりますが、以前の二十三士温泉様と同じように、一般のお客様を対象とした温泉施設となっております。
 いつでも健康で楽しい生活がおくれますよう、たくさんの皆様にご活用頂けたらと願っております。

平成27年度永年勤続表彰受賞者一覧

平成27年6月23日実施

(写真左から)

栄養部 主任 鈴木 道代【5年勤続】	西病棟 看護師 西尾 滝【15年勤続】
外来・中材手術部 看護副師長 小林 沙織【5年勤続】	西病棟 看護師 藤田 亜美【15年勤続】
医事課 事務員 坂本 祐樹【10年勤続】	西病棟 看護助手 竹内 寿子【15年勤続】
院長	リハビリテーション部 言語聴覚士 渡邊 真弥【10年勤続】
栄養部 調理師 小川 美和子【15年勤続】	栄養部 調理師 西窪 由佳里【10年勤続】
外来・中材手術部 看護助手 森本 民子【10年勤続】	西病棟 看護師 橋本 弘恵【5年勤続】
総務課 清掃 天野 美加子【10年勤続】	西病棟 看護師 西尾 真実【5年勤続】
	リハビリテーション部 言語聴覚士 山中 孝訓【5年勤続】
	医事課 事務員 前田 美保【5年勤続】

2列目

通所リハビリ 介護福祉士 小山 栄治【5年勤続】
西病棟 看護師長 平井 三栄子【5年勤続】
医事課 事務員 山本 武幸【5年勤続】
リハビリテーション部 理学療法士 岡林 輝親【5年勤続】
西病棟 准看護師 鍋島 亜矢子【5年勤続】
リハビリテーション部 作業療法士 福本 茜予【5年勤続】
リハビリテーション部 作業療法士 谷口 梨奈【5年勤続】
リハビリテーション部 理学療法士 前野 友秀【5年勤続】

3列目【丸粹】

西病棟 看護師 外京 由美【20年勤続】
西病棟 看護師 大久保 広美【20年勤続】
リハビリテーション部 助手 西山 佳代【20年勤続】
回復期リハビリ病棟 看護師 小松 幸恵【20年勤続】



ISO9001更新審査について

ISO9001管理責任者
リハビリテーション部 部長 細田 隆之



7月8日(水)から10日の3日間、審査がありました。今回は3年に1度の更新審査であり、全ての部署対象の為、3日間2グループに分かれ審査して頂きました。

今回の審査は3年間の総括的な部分もあり、管理責任者の3年間の総括でもあったことから、緊張と責任と逃避感と…が頭の中で戦いながらの3日間でした。監査員から戴いた総合所見を載せたいと思います。「3ヶ年を振り返り、最も評価すべき点は組織の改善意欲の高さでした。1年ごとにより良い運用方法を生み出し、明らかに成果に繋がったことを確認しました。以下省略。」

3年の取り組みに対して、最高の褒め言葉を戴くことが出来ました。部署長や内部監査員の皆様、職員の皆様のおかげだと思っております。ありがとうございました。今回も前回同様、課題を戴きました。まだしばらく僕が管理責任者をしていきそうなので…(涙)。これからも力を合わせて、その課題を形にしていけるように頑張ります。

病気のはなし 嚥下障害

副院長 清藤 啓之

嚥下とは、口の中に取り込まれた食べ物や水分を口腔から咽頭、食道を経て胃に送り込む反射による運動です。その機能が障害されると嚥下障害を引き起こします。原因としては脳血管障害、神経・筋疾患（パーキンソン病、筋ジストロフィー等）、口腔・咽頭・喉頭・食道などの嚥下器官の器質的疾患、手術、加齢、薬剤の副作用など多岐に渡ります。

脳血管障害の場合は、急性期の30～50%に嚥下障害が発生し、慢性期にも5%程度認められます。脳血管障害を発症した高齢者では、長期間の絶食となることもあり容易に廃用状態へ陥ることで嚥下機能低下を引き起こします。

一般によく使用される抗不安剤・抗うつ剤・抗てんかん剤などは、眠気が生じやすく、意識レベル低下や食事に対する注意を散漫にさせます。また、パーキンソン病に対する中枢性抗コリン剤は、唾液分泌を抑制することで口腔内を乾燥させ口腔内細菌を増加し、誤嚥性肺炎のリスクが高くなります。

誤嚥とは、気管に食べ物が誤って侵入してしまうことです。誤嚥にも様々なタイプがあり、飲み込む前に気管へ食べ物が入ってしまう『嚥下前誤嚥』、飲み込んでいる最中に気管へ食べ物が入ってしまう『嚥下中誤嚥』、飲み込んだ後に喉に残っている食べ物が気管へ入ってしまう『嚥下後誤嚥』があります。

誤嚥の有無は、分かりにくいもので、その為客観的な検査が必要となります。代表的な嚥下機能検査として、造影検査、内視鏡検査、嚥下圧検査、筋電図検査などがあり、当院では内視鏡検査を実施しています。水や食べ物を用いて気管への侵入がないかなど嚥下状態を確認します。また誤嚥防止で重要な咳反射の有無や強さも確認することが出来ます。嚥下機能を点数化することで食事開始や食事形態の検討を行っています。

現在世の中では、健康寿命を延ばす取り組みがされています。経口摂取は、生きる喜びであり生活の質を高めるために、最後まで口から食べられる予防を積極的に行っていく必要があります。



新薬情報 B型・C型肝炎治療に関する医療費助成について

薬剤部 薬剤師 斉藤 忠男

今回は国内最大の感染症でありながら治療費が高額となるため、治療をためられる患者さまが多いといわれる肝炎について、昨年より厚生労働省と各都道府県からの助成対象が拡大されましたのでご案内します。

肝炎ウイルスは様々な感染経路を通して我々の体内に入ってきて、肝硬変や肝がんといったより重篤な病態へ進行してしまいます。

高知県では治療費の助成により患者さまの早期治療を促進し、将来の肝硬変や肝がんを予防、二次感染を防ぐことを目的とした「高知県肝炎治療特別促進事業」を実施しております。対象となる方は、高知県内に住民登録または外国人登録をしている方、各種医療保険に加入している方とその被扶養者の方です。対象となる治療は、C型ウイルス性肝炎の根治を目的として行うインターフェロン治療及びインターフェロンフリー治療で保険適応となるもの、B型ウイルス性肝炎に対して行われるインターフェロン治療及び核酸アナログ製剤で保険適用となるものです。*診察料、検査料、入院料などを含む自己負担限度額ですが、世帯の市町村住民税課税年額が235,000円以下の方は10,000円/月です。世帯の市町村住民税課税年額が235,000円以上の方は20,000円/月となります。当院でも肝炎の治療や検査を行っていますので、治療や検査に関するご不明な点はお問い合わせください。

申請に関するご不明な点は安芸福祉保健所 健康障害課 (0887-34-3177) までお問い合わせください。

新入職員オリエンテーションを通して学んだこと



リハビリテーション部 理学療法士 瀧本 京香

4月1日から3日まで、新人オリエンテーションとし、医療安全管理など田野病院で業務を行っていく上で必要な事柄について学びました。医療安全管理についてはグループワークだったため、他の新人職員の方とディスカッションができました。危険な場面を判断する能力が磨かれたとともに、他職種と連携し、チーム医療を進めていく重要性を実感しました。また、院内感染防止については実技を踏まえ、実践的な指導を受けました。普段の手洗いでは細菌等の汚れは完全に落ちないことを学び、入念に手洗いするという心を掛けるようになりました。更に、心肺蘇生法の講習会では、人命救助の場面に遭遇した場合、率先して行動出来るよう、医療人としての意識が高まりました。

危ない物を『安全、安心』して使用する酸素療法 ～医療ガスセミナーに参加して～



回復期リハビリテーション病棟 准看護師 津野 可奈

セミナーでは酸素の支燃性について説明がありました。支燃性とは、酸素は自ら燃えないが、燃えている物を激しく燃焼させる性質の事です。説明の後、実際に酸素を充填させた瓶に火がついたマッチを入れる実験をしました。火のついたマッチを入れた途端に炎は大きく変化したことから、酸素は火気厳禁である事を強く印象づける事ができました。

次に、医療用酸素ボンベの取り扱い時の注意点やボンベの安全なバルブ、栓の開閉方法について詳しく知ることができたことや、医療ボンベ内の酸素は圧縮されていることから、横に倒したり、衝撃を与えてはいけない事も学びました。セミナー前は酸素ボンベに対し「危ない物」という印象を持っていましたが、セミナーを受けることにより使用時の注意点を守り、安全確認・安全操作を行なう事で安心して利用できるようになりました。今後もセミナーで学んだ事を活かしながら安全・安心の酸素療法を提供できるようにしていきたいと思います。

BLS講習会に参加して

回復期リハビリテーション病棟 准看護師 溝渕佐保里

今回でBLS講習を受けたのは2回目でした。学生時代に教わりましたが、異なった部分があり、改めて学ぶことができました。心臓マッサージをすることがその人の生死を分けるのに最も大事だということも知ることができました。心肺蘇生時には心臓マッサージができるように、心臓マッサージをする位置や速さ、思っていたよりも強く押さなければいけないことなど、今回の講習で身につけたことを少しでも実践で生かせるようにしたいと思います。また、AED（半自動除細動器）の貼り方にもいろいろあり、毛深い人にはこうしたらいい、小児には背中と胸に貼れば良いなど貼り方にもいろいろあることも勉強することができて良かったです。今回の講習で学んだことを、仕事や日常生活の中で活かせるようにしていきたいと思っています。



【整理・整頓・清掃・清潔・しつけ】＝5S ～医療安全セミナーに参加して～



リハビリテーション部 言語聴覚士 井浦沙也香

8月26日～8月28日に医療安全セミナーが開催されました。内容は平成26年度のインシデント・アクシデントの報告と5Sについてです。5Sとは「整理・整頓・清掃・清潔・しつけ」の事です。5Sについては、日頃あまり意識した事はなかったのですが、日々の業務を振りかえってみれば、整理・整頓が出来てなくて、「ヒヤリ」とした経験がありました。今後重大なアクシデントにならない為にも、日頃から5Sを意識していく必要があると思いました。また今回のセミナーで、一番印象的だったのは、昨年は平成25年度と比較するとインシデント報告が少なくなり、転倒や骨折といった大きなアクシデントの報告が増えているという事です。1件のアクシデントに至るには300件の小さなヒヤリハットがあるとされていますが、今まであまり実感する事は無かったのですが、セミナーで実際にインシデント報告の減少と共にアクシデントが増えている事が分かり、インシデント報告の大切さを実感しました。

救急医療研修会



平成27年 4月22日開催
 講師：副院長 清藤 啓之
 『救急救命士養成課程における
 中毒教育の現状と問題点』



平成27年 6月25日開催
 講師：院長 臼井 隆
 『急性腹症
 ～救急現場での原因疾患の推測～』



平成27年 8月19日開催
 講師
 脳神経外科部長 井川 直樹
 『t-PA症例報告』

抗菌薬の適正使用方法への知識と理解 ～第63回日本化学療法学会に参加して～

西病棟 看護師 西尾 真実

6月5日～6日の2日間、日本化学療法学会があり参加してきました。いくつかの演題の中で肺炎球菌ワクチンについての話がありました。国内死因上位を占める肺炎は、入院患者の中でも少なくとも、ワクチン接種を行う事での肺炎予防への有効性等について興味深く聞くことが出来ました。薬剤によっては耐性化しやすい為、定期的なフォロー（培養検査の実施）を行う事が重要です。病状経過を正しい知識と判断力で見ていけるように、抗菌薬の正しい選択方法や副作用症状についての知識習得は必要不可欠と思えました。知識を持っている事で、医師・薬剤師との連携や情報共有もスムーズに行う事が望め、早期対応にもつながると思います。また、感染症の原因菌はあらゆる所に潜在しており、カテーテル類や人工呼吸器からの感染は合併症としてもリスクを伴い、環境整備の徹底も治療の一環として、重要視していく事の大切さを実感しました。今回、当院で採用している薬剤のみならず、新規の抗菌薬についての話もあり、貴重な知識習得の場となりました。今後も研修等への参加を積極的に行いたいと思います。



ボトックス治療を開始して2年

リハビリテーション部 副主任（作業療法士） 曾我本祐大



平成25年度より、当院で新たに開始したボトックス治療に携わり2年が経ちました。ボトックスとは、脳卒中後の痙縮に対する治療の一手段です。当院では初の試みで、理学療法士と試行錯誤を繰り返す状況でした。その為、とにかくがむしゃらに研修会へ参加し、より良い治療効果が得られるよう行動しました。同時に得た知識を持ち帰り、復習し、更に実践を繰り返すにつれ、時間の短縮が得られ、効果についても「手が開きやすくなった」「痛みが少なくなった」等の声が聞かれる様になりました。中には筋委縮の影響で目的筋への施注に時間を要し、不快感を与えたことや施注量の増減により、十分な効果が得られない方もいました。こういった経験を大事にしながら更なる知識・技術の向上に努め、患者様が不快なく治療に望めるよう働きかけていきたいと思えます。

たのたの 楽楽けんこう隊

楽楽けんこう隊は、地域医療の貢献及び予防医療の促進に伴い発足しました。医療スタッフが病気の予防や治療、健康保持についてさまざまなテーマを取り上げています。

第111回 『嚥下障害について』

臨床検査部 臨床検査技師 松井 理恵

4月18日(土)リハビリテーション部の井浦沙也香言語聴覚士に「嚥下障害について」講演していただきました。嚥下障害とは、病気や老化などにより、モノが飲み込みにくい状態になることで、食べ物が詰まりやすく、肺へ入ると誤嚥性肺炎を起こします。高齢者では、死亡率の高い誤嚥性肺炎の予防として、正しい歯磨きで口腔内を清潔に保つこと、食べる事に関わる筋肉の動きをよくする嚥下体操を行い、食事をするとよいそうです。講演では、嚥下体操の実演もあり、皆さん真剣に取り組まれていました。いつまでも健康で楽しく食事ができるようにしたいですね。

第112回 『ひざの痛み』

総務課 牛窓 靖

今回は膝の痛みについて、当院リハビリテーション部 有光徳久 理学療法士による講演がありました。内容として、膝の役割や病気、膝を守るためのセルフケアについてでした。特に、興味深かったのが変形性膝関節症でした。これは、膝を守る2種類の軟骨がすり減って、痛みが出現し水が貯まるなどし、末期には自力で立ち上がれない状態になるとの事でした。関節内注射で、少なくなったヒアルロン酸を補い、痛みや炎症を減らしているそうです。また、膝の負担を減らす生活改善として、洋式の生活をする(トイレ・ベッド)、姿勢や動作の改善(猫背をなおす)、体重コントロール、筋肉トレーニングなどをすると良いそうです。膝に不安のある方は参考にさせていただいたのではないかと思います。



第113回 『正しい靴の選び方』

栄養部 管理栄養士 鈴木 道代

6月27日、バイタルフス高知義肢装具士 関耕二さんから正しい靴の選び方についての講演がありました。最初に、趾先のかたちはスクエア型、ギリシャ型、エジプト型に分けられる事や、足には標準足と開帳足があり、立つと趾先が広がる開帳足は外反母趾になりやすい事、膝のかたち、姿勢、靴のすれ、踵の傾きについて説明していただきました。次に、転倒による骨折で身体機能の悪化、転倒への恐怖感で閉じこもりとなり、廃用症候群



から、持病の悪化、寝たきり、認知症になることもあるので、正しい靴の選びが重要だと示されました。最後に、健康とは「行きたいときに、行きたいところへ、自分の力で移動できることです」とおっしゃっていました。皆が靴は大切だと感じる有意義な楽楽けんこう隊となりました。

第114回 『高齢者の為の簡易栄養評価』

総務課 岩崎 宏紀

今回は、ネスレ日本株式会社 林 篤雄氏を講師にお招きし、ご高齢者の栄養評価についてお話をしました。

ネスレでは、ご高齢者の健康を支援するために65歳以上のご高齢者の栄養状態を簡単に把握するための医療・介護従事者向けの、『MNA(Mini Nutritional Assessment)』という栄養アセスメントツールを積極的に推奨されています。

MNAは低栄養状態の多いご高齢者のリスクを把握し、その予後を見越したケアを行うきっかけとして、日本をはじめ世界各国で活用されています。

講演では、MNA(栄養評価)の特徴やメリットのご説明、実際のMNAを用いて、ご参加になった皆様を評価して頂くなど、ご自身の栄養状態に興味・関心を持ちながら聞かれている姿が印象的でした。

また、看板商品であるボトルコーヒーや、手軽に栄養補給ができるゼリーなどたくさんの粗品をご提供頂き、参加された皆様は大変満足されていました。



第115回『よさこい演舞』

医事課 主任 中島 豊



毎年恒例の「祭屋～Saiya～よさこい踊り子隊」による慰問演舞が、田野病院と在宅ヘルスケアセンターにて披露されました。

まずは、田野病院の総合リハビリテーションセンター南側駐車場にて演舞が予定されており、私は会場の設営準備をしておりました。同日は、屋外にいるだけでも汗が流れ落ちる程の暑さでした。患者様は麦わら帽子をかぶり、団扇を片手によさこい演舞の始まりを待たれていました。



間もなく、真っ赤な衣装に身を包んだ踊り子達と迫力ある地方車がやってきました。大きな拍手で迎えられ演舞が始まりました。踊り子達は笑顔で暑さに負けない活気あふれる演舞を披露してくれました。患者様も一緒に楽しまれていました。

続いて、二十三土温泉跡に新設された在宅ケアセンターへ移動し第2部が披露されると利用者の皆様は本当にうれしそうな顔で演舞を拝見されていました。本当に祭屋の皆様、今年も元気を分けて頂きありがとうございました。



北海道旅行

通所リハビリテーションの 介護福祉士 竹田 順子

3月末に2泊3日で北海道へ家族旅行に行ってきました。1日目は、層雲峡の氷瀑祭りに行きました。札幌の雪祭りのように雪でいろんな物を作っているのですが、暖かくて雪が溶け始めていて、少し残念でした。2日目は、有名な旭山動物園に行きました。15匹のペンギンのパレードは、とても可愛らしくて子供達も大喜びでした。それからフラワーランドでジャガイモを食べました。少し甘みがあり、美味しくおかわりをしてしまいました。3日目は、小樽運河周辺を散策しました。きれいなガラス製品がたくさんあり、母が「液だれしない醤油さし」を気に入り、姉と2人でプレゼントしました。親孝行(?)もできたし、南国で育ち、雪に触れる事が少なかった子供達にとっても良い旅行になりました。北海道は広くまだまだ行きたい所がたくさんあります。ぜひ、また行きたいです。

北海道はデッカイどうでした。



よさこいに参加させて頂いて

リハビリテーション部 理学療法士 横内 克之



今回、祭屋よさこい踊り子隊というチームに参加させてもらい本祭を踊らせて頂きました。よさこいは専門学校生の時に一度踊って以来、踊っていないので振り付けを覚えられるか不安でした。しかし、練習が始まってみると指導してくれる方が楽しく教えてくれたこともあり、踊れば踊るほど上達していき何より周りのメンバーと共いうまくなっていることがとても居心地良く感じました。

本祭の日になり、練習の成果が出せるか不安と緊張で心臓が口から飛び出そうでしたが、一回目の演舞を踊り終えたとき、最高に気持ちよかったことを今でも覚えています。またよさこいは地域振興にもなると思っており、田野病院の理念でもある【共生】の言葉に繋がることでもあると思います。祭屋よさこい踊り子隊は田野町でも活動しており、来年も踊り、田野町の地域振興にも貢献していきたいと思っております。

リレーエッセイ ～日々、釣日和～

リハビリテーション部 理学療法士 楠本 拓麻

今回は、僕の趣味である【釣り】について書こうと思います。物心ついた頃からで数えても、釣り歴は20年になります。祖父、父親から英才教育を受け、川、池、海を自転車で走り回っていた事が昨日の事のように思います。室戸に住む男として、これ以上ない趣味だと思えます。今の時期は船からの真鯛、磯からのアオリイカが僕達を楽しませてくれます。ここで先人たちの名言をご紹介します。 “釣りは男が淋しさなしに孤独でいることができる地上に残された僅かな場所の一つだ” by ロバート・トレイヴァー “釣りをしている夫の姿を見たことのない女房は、自分がどれほど辛抱強い男と結婚したのか気が付かない” by エドガー・ワトソン・ハウ ……深い(笑)



最近新しい夢ができました。それは親子4世代で釣りに行くことです。みんなで海面に釣り糸を垂らすその日を思い浮かべ、僕はまた愛車を海へ走らせることでしょう。

新入職員歓迎ボウリング大会

リハビリテーション部 理学療法士 谷川 匠

5月30日に高知市宝永町にありますROUND 1で新入職員歓迎ボウリング大会がありました。様々な職種の方達とチームを組み、和気あいあいとした雰囲気を楽しむことができました。



このボウリング大会では個人賞、団体賞があると聞き、私は密かに個人賞を狙って

いましたが、結果は振るわず個人賞はとれませんでした。しかし、チームの方々の頑張りにより団体賞を取ることができました。想像以上に皆さん上手で驚きでした。

ボウリング大会終了後には、飲み会がありました。飲み会では、皆さんの普段とは違った一面を拝見することができ、とても楽しく充実した飲み会でした。

今回の歓迎会では、自分の事を知ってもらう機会になりましたし、様々な職種の方々との交友の輪を広げる機会となりました。今後も当院でのイベントなどに積極的に参加し、交友の輪を広げていきたいと思います。

バレーボール部 活動報告

臨床検査部 臨床検査技師 松井 理恵

平成27年4月26日に室戸市の体育館でバレーボール大会に参加してきました。

発足して初めての試合でしたが、なんと3位入賞しました！（全4チーム中ですが…）

私は、バレーボール初心者なので、今回は応援での参加でしたが、強豪チームとの試合でもみんなあきらめずに、一丸となってボールを追いかけている姿は、本当にかっこよく、応援にも力が入りました。ハラハラ、ドキドキ、とても楽しい時間を過ごせました。

普段は、毎週水曜日に、結いの丘ドームで、楽しく練習しています。部員募集もしていますので、バレーボールの経験を問わず興味のある方、運動不足、ストレス解消したい方など参加歓迎しています！



栄養部に実習生がやってきました

栄養部 管理栄養士 鈴木 道代

このたび栄養部は8月後半の2週間、管理栄養士課程の臨地実習を受け入れました。川崎医療福祉大学と園田学園女子大学の4年生2名です。田野病院で学んでいただくことは、栄養管理が中心ですが、私は以前から託児所の子どもたちにエプロンシアターを見ていただきたいと思っていました。2人をお願いすると喜んで演じてくれました。エプロンシアターはエプロンで紙芝居のようにお話をしていきます。アンパンマンが出てきて、カレー

ライスを作る工程を進めていくお話でした。3歳から5歳児向けですが学生がアレンジして1歳から2歳児向けに楽しく演じてくれました。最後はアンパンマンマーチの大合唱です。子どもたちも鈴やトライアングルで参加して大盛り上がりでした。その他、食育教室「食育アカデミー」の進行や受付などもお手伝いしていただき、私にも楽しい夏の思い出となりました。



デイサービス たの通信

平成27年6月に、デイサービスたのがOPEN致しました。

『天気の良い日に花壇をつくりました』



今度は野菜を
植えようかな？

『編み物、手芸』



完成が楽しみです

生きがいを
つくって
もって
今日も元氣

『足のむくみをとっています』



きもちいいですよ♪

『運動、体力作り』



♡ 結婚しました ♡

おめでとうございます！ お幸せに。



楠本 拓麻 ♡ 絵里
(旧姓：山岡)
リハビリ部理学療法士 (新郎)
リハビリ部理学療法士 (新婦)
挙式：2015年7月11日(土)
ララチャンス迎賓館



山本 武幸 ♡ 文架
(旧姓：喜多村)
医事課事務 (新郎)
リハビリ部言語聴覚士 (新婦)
挙式：2015年9月20日(日)
サンピアセリーズ

ぼくらの夏祭り

通所リハビリテーションの
介護福祉士 松岡 和彦

8月15日、田野病院は田野町ふれあい広場で2年ぶりに開催されました「みんなの夏祭り」に出店、今年は4品目を販売させて頂きました。なんと、販売開始後一時間ほどで完売しました。買って頂きました皆様、ありがとうございました。

さて、お祭りは恒例の田野音頭、小学生による「よさこいソーラン」、中芸高校生チームによるよさこい鳴子踊りやよさこい祭りの常連2チームである「ほにや」と、田野病院職員も参加している「祭屋」のよさこい演舞が披露されていました。その他にも餅投げ、歌など多数催し物や出店もあり、大変賑わっていました。

最後に豪華賞品の抽選会がありワクワク・ドキドキしましたが、肩を落としての帰宅となりました。



ドラゴンカヌー

リハビリテーション部 理学療法士 谷川 匠

平成27年8月2日、須崎市で開催された第17回ドラゴンカヌー大会に田野病院の一員として出場しました。自分自身カヌーに乗るのは初めての経験であったため楽しみにしていました。



会場に着くと沢山の人がいて、出店も数多くありました。一見祭りのような雰囲気、私自身もテンションが上がりました。

ドラゴンカヌーは定員27人乗りですが、実際に乗り込むと前後の人との間隔が狭かったです。そのため、チームで掛け声を決めて全員の息を揃える必要がありました。

いざレース開始となり、『スタート』の声と同時に清藤船長(副院長)の太鼓の音と掛け声に合わせて全力でオールを漕ぎました。想像以上にスピードが速く、乗り心地は最高でしたが…後半、力尽きました。結果は、予選敗退。しかし、例年のタイムと比べると数十秒も早い成績でした。来年こそは、決勝進出を目指して頑張りたいと思います。

茄子の味噌あんかけそうめん

栄養部 管理栄養士 小松 華子

- 【材料】 ●ソーメン 2束 ●茄子 160g (中2本) ●豚ひき肉 100g ●生姜 少々 ●ねぎ 少々
- ★ (●味噌 大さじ3 ●酒 小さじ1と1/2 ●砂糖 大さじ1と1/2 ●中華スープの素 小さじ1/2 ●水 150ml ●コショウ 適量 ●油 大さじ1)



- 【作り方】 ①そうめんをお好みの硬さに茹でて、麺をほぐしやすくするために油を少量かけ混ぜておく。
②茄子を半月の薄切りにする。
③油を熱したフライパンで生姜を炒め、香りが出てきたらひき肉を炒める。
④肉の色が変われば、ナスを加えて軽く炒め、★の合わせ調味料で味付けし、しばらく煮る。
⑤水溶き片栗粉でとろみをつける。
⑥①のそうめんを皿に盛り⑤をかける。ねぎを散らす。

①回復期リハビリ病棟／介護



寺尾 理沙

①回復期リハビリ病棟／准看護師 ②南国市 ③映画鑑賞 ④電子カルテの取り扱いは初めてで少しでも早く操作や記載方法を覚えスムーズに業務を行えるようにします。



たむら 磨美

①回復期リハビリ病棟／看護師 ②大阪府 ③ジョギング・卓球 ④回復期リハビリ病棟は初めてですが、患者さまと病院を信頼してもらえらる看護師を目指します。



はま 濱 渦 篤

新人紹介

①所属・職種 ②出身地 ③趣味・特技 ④どのようなことで頑張りたいですか？

①臨床検査部／臨床検査技師



しば の 野 美 樹

①回復期リハビリ病棟／ケアスタッフ ②安田町 ③ドライブ、体を動かす、ゲーム ④元気に明るく患者さまに頼ってもらえるようなスタッフになりたいです。



たか 倉 由 希

①回復期リハビリ病棟／介護福祉士 ②安芸市 ③ライブ鑑賞(県外へもしょっちゅう行きます。) ④病棟で勤務するのは初めてで、一つ一つの事をしっかりと覚えていき、早く患者様やスタッフの皆さんのお役に立てるように頑張ります。



なか がわ 中 美 希

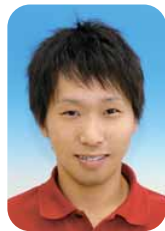
福祉士 ②東洋町 ③スペイン語(挨拶程度) ④意欲向上

①医事課／会計業務 ②室戸市 ③ガーデニング ④患者さまへの対応がちゃんとできるうちに、また信頼されるよう頑張ります。



はま 濱 里 枝

①デイサービス・シヨートステイ／介護福祉士 ②大阪府 ③フットサル・マラソン ④精一杯自分のできることを行い、一生懸命頑張ります。



えだ 枝 洋 平

①臨床検査部／臨床検査技師 ②四万十市中村 ③ドライブ ④いつも笑顔忘れずに、一日でも早く仕事に慣れて明るく元気に頑張ります。



やす 安 岡 希 百

②室戸市 ③音楽鑑賞 ④一日でも早く仕事を覚えるように頑張ります。



こん 藤 美 和 子

①総務課／事務員 ②安芸市 ③音楽鑑賞 ④皆様のお役に立てるように精一杯業務に取り組みたいと思います。宜しくお願い致します。

編集後記



じりじりと照りつけるような猛暑から、ひんやりとした秋の風を感じられることも多くなってきました。短い季節ではありますが、「食欲の秋」・「読書の秋」・「スポーツの秋」など、たくさんのお楽しみがあります。

季節の変わり目は体調を崩しやすいので、手洗い・うがいなどの予防をしっかりして、寒い冬に備えましょう。

回復期リハビリテーション病棟 介護福祉士 森本 博文